

平成30年度事業報告

第1 専門医健診推進事業

北海道における学校保健に関する施策に対し、協力すること（定款第4条1）

昭和36年度から、医療機関に恵まれない地域の児童生徒の健康の保持増進を目的として、道及び市町村が経費を負担し児童生徒巡回診療事業をおこなってきたが、62年度から、当会が形をかえて継続することとなり現在に至っている。児童生徒の学校での健康診断において専門医（眼科・耳鼻咽喉科）の確保が困難な教育委員会に対し、北海道教育委員会、北海道医師会、北海道眼科医会、北海道耳鼻咽喉科医会の協力を得て専門医の紹介を行い、児童生徒の健康の保持増進に努めた。

北海道教育委員会が「希望する市町村教育委員会」を調査し、関係機関による事業推進打合会を当会が開催し、健診担当病院・医師を両医会の紹介を受け、「希望する市町村教育委員会」に当会より通知する。

通知を受けた教育委員会は、担当病院・医師と日程・交通機関・報酬等について協議を行い実施する。健診終了後、教育委員会は当会に「実施報告書」を提出。担当病院・医師に会長名で礼状を送付する。

専門医の確保が困難な地域の、児童生徒の健康の保持増進を図る上で、この事業の担う役割は大きくなっている。

- ・30年度実施 【眼科】9町村 1,824人 【耳鼻咽喉科】7町村 1,418人
- ・児童生徒専門医（眼科・耳鼻咽喉科）健診推進事業打合せ会開催
- ・眼科医会、耳鼻咽喉科医会が行う児童生徒の専門医健診への助成報酬

(1) 事業推進打合会 平成30年3月7日

(2) 医師派遣要請町村児童生徒の眼科・耳鼻咽喉科専門医健診を次のとおり実施した。

管内	実施町村	健診科目	学校数	学年	児童生徒数	派遣時期	医療機関	派遣医師
檜山	江差町	眼科	小 3校	全学年	288人	7 / 10	江口眼科病院	松浦 恭祐
			中 2校	全学年	151人			
空知	月形町	耳鼻咽喉科	小 1校	全学年	98人	6 / 28	にしざわ耳鼻咽喉科クリニック	西澤 伸志
			中 1校	全学年	42人			
			就 1校	新就学児	21人	11/1		
留	苫前町	眼科	小 2校	全学年	123人	6 / 19	旭川医科大学	悪七 美紀
			中 2校	全学年	72人			
		耳鼻咽喉科	小 2校	全学年	124人	7 / 5	木村医院	木村 裕
			中 2校	全学年	72人			
萌	初山別村	耳鼻咽喉科	小 1校	全学年	41人	10 / 17	渡邊クリニック	渡邊 弘樹
			中 1校	全学年	15人			
	遠別町	眼科	小 1校	全学年	111人	6 / 18	旭川医科大学	悪七 美紀
			中 1校	全学年	50人			
		耳鼻咽喉科	小 1校	全学年	112人	7 / 18	渡邊クリニック	渡邊 弘樹
			中 1校	全学年	53人			
	天塩町	眼科	小 2校	全学年	142人	6 / 18	旭川医科大学	大坪 充
			中 1校	全学年	70人			
宗谷	猿払村	眼科	小 4校	全学年	148人	11/28 11/29 11/30	旭川医科大学	横山 一弘
	浜頓別町	眼科	小 2校	全学年	158人			
			中 1校	全学年	79人			
	枝幸町	眼科	小 1校	全学年	76人			
			中 1校	全学年	37人			
宗谷	枝幸町	耳鼻咽喉科	小 8校	全学年	288人	10/17 10/18	旭川医科大学	長門 利純 林 隆介 野澤はやぶさ
			中 2校	全学年	178人			
	中頓別町	耳鼻咽喉科	小 1校	全学年	66人			
			中 1校	全学年	36人			
	豊富町	耳鼻咽喉科	小 2校	全学年	184人			
			中 2校	全学年	88人			
オホツルク	津別町	眼科	小 1校	1~3年	84人 0人	7 / 4	旭川医科大学	實田 耕治
根室	別海町	眼科	中 8校	3年	0人 146人	6 / 27 6 / 28	北海道大学	山口 瑞穂

	[収入額]	0円
	[所要経費]	223,582円
事業費	会議費	10,216円
事業費	通信運搬費	70円
事業費	旅費交通費	12,000円
事業費	報償費	201,296円

第2 心臓検診推進事業

北海道における学校保健に関する施策に対し協力すること（定款第4条1）

児童生徒の学校での心臓検診において、独自で検査を実施することが困難な市町村に対し、心臓検診を実施できるよう援助を行い、小児循環器専門医による判定結果を、教育委員会を通して学校・保護者に知らせるなどして、児童生徒の健康の保持増進に努めた。本道の義務教育における心臓検診実施率100%維持を保つことに貢献した。（児童生徒1人あたり1,300円で実施）

・協力機関

北海道医師会、北海道臨床衛生検査技師会、苫小牧保健センター心電図解析センター
北海道小児循環器研究会

・実施市町村 21市町村

管内	市町村名	対象者数	受診者数	管内	市町村名	対象者数	受診者数	管内	市町村名	対象者数	受診者数	
後志	留寿都村	37	37	空知	砂川市	222	217	オホーツク	雄武町	71	68	
	積丹町	14	12		奈井江町	69	67		美幌町	324	313	
	古平町	33	31		新十津川町	100	96		津別町	31	31	
	仁木町	44	43	上川	名寄市	428	418		遠軽町	326	321	
	余市町	249	225	林-ツツ	網走市	609	597		佐呂間町	86	84	
	赤井川村	8	8		清里町	69	56		湧別町	114	113	
空知	美唄市	244	238		紋別市	325	319	根室	羅臼町	129	126	
										合計	3543	3441

実施率は97.12%

3,529名から3,441名に（88名減）

[収入額]	4,470,700円
[所要経費]	4,187,376円
支払納付金	2,965,400円
支払手数料	1,025,984円
通信運搬費	42,882円
消耗品費	5,494円
臨時雇用	115,000円
印刷製本費	32,616円
租税公課	0円

第3 研究啓発事業

研究大会、講演会、講習会等を開催し、及び他の行う同種事業の助成を行うこと（定款第4条2）

学校保健活動の充実を図り、学校・家庭・地域社会が連携し、課題解決に向け研究会を開催し調査研究協議を行うと共に、講演会を開催し、児童生徒の健康の保持増進を図る

1 平成30年度 第66回北海道学校保健・安全研究大会空知(砂川)大会

各関係機関と連携して主催し、平成30年度第66回北海道学校保健・安全研究大会空知(砂川)大会の充実に努めた。

・主催 北海道教育委員会、公益財団法人日本学校保健会、公益財団法人北海道学校保健会、砂川市教育委員会

・大会期日 平成30年10月21日(日) ・会場 砂川市地域交流センターゆう



[収入額]	200,000円
[所要経費]	328,632円
交通費	27,920円
通信運搬費	280円
消耗費	0円
印刷製本費	300,432円

2 学校歯科保健研究大会・学校保健研修会の開催

- ・学校保健の推進充実を図るため、北海道歯科医師会と共同で講演会並びに学校歯科保健研究大会を開催した。
- ・北海道薬剤師会と協力して学校保健講演会を開催した。

○第38回北海道学校歯科保健研究大会 10月14日(金)開催 北海道歯科医師会館



講演1 北野通り眼科 医院長 中田 勝義 氏
「北海道の学校における色覚検査の現況と対策」
講演2 わたなべ小児科・アレルギー科クリニック
院長 渡辺 徹 氏
「歯科医の知っておきたいアレルギー知識—食物アレルギーを中心に—」

○平成30年度学校保健講演会
平成31年3月2日(土) 北農健保会館3階大会議室

講演 日本赤十字北海道看護大学 教授 根本 昌宏 氏
「寒冷地の学校における災害対応について」



3 平成30年度全国学校保健・安全研究大会、中央大会への参加

鹿児島県で開催された大会に事務局より1名が参加し、学校保健の状況把握に努めた。学校保健会中央大会では、各地区の保健会の活動・グループ別討議に参加し、国への要望事項を話し合った。

全国学校保健・安全研究大会 平成30年10月25日26日 鹿児島県鹿児島市市民文化ホール他
学校保健会中央大会 平成30年10月26日 ベストウェスタンレンブラントホテル鹿児島リゾート



[収入額]	0 円
[所要経費]	96,988 円
旅費交通費	96,988 円

第4 普及発展事業

1 広報活動事業

学校保健に関する広報活動を行うこと(定款第4条4)

本道の学校保健の充実発展を図るため、会報「学校保健」を年3回発行し、当会の活動内容の周知及び各種学校保健活動を紹介し、学校保健思想の普及啓発を図った。

・第105号(6月29日発行)

巻頭言 北海道歯科医師会 青木常務理事
平成29年度北海道学校歯科保健優良校 受賞校の紹介
北海道の学校における色覚検査の現況と対策効果の調査研究
保健室シリーズ
平成30年度北海道学校保健・安全研究大会空知(砂川)大会のお知らせ
平成29年度北海道学校保健会事業概要・予算概要

・第106号(9月28日発行)

巻頭言 北海道中学校長会 木谷副会長
平成30年度北海道学校保健功労者表彰受賞者一覧
保健室シリーズ
第37回北海道学校歯科保健研究大会のお知らせ
平成29年度文部科学省補助事業健康診断啓発研修会のお知らせ
保健室シリーズ
平成29年度北海道学校保健会事業報告(概要)
平成29年度北海道学校保健会財務諸表

・第107号(1月31日発行)

巻頭言 北海道学校保健会 長瀬会長
第66回北海道学校保健・安全研究大会空知(砂川)大会の報告
第38回北海道学校歯科保健研究大会の報告
保健室シリーズ

[収入額]	540,000 円
[所要経費]	656,741 円
諸謝金	30,000 円
通信運搬費	32,731 円
印刷製本費	594,010 円

2 学校保健資料収集配布事業

学校保健に関する資料を収集し、及び配布すること(定款第4条5)

学校保健関係専門図書等の紹介及び斡旋並びに学校保健資料の収集配布を行う。

(1) 公益財団法人日本学校保健会刊行物の斡旋、資料の紹介・収集配付。

平成30年度全国健康づくり推進校の実践第17集
平成30年度学校健康づくり啓発ポスター(小学生版、中学生版、高校生版)
啓発パンフレット『心肺蘇生の実践とAEDの活用』
実践事例集『実験!思春期の歯・口の健康づくり~実践事例集~』
実践事例集『興味を持って取り組める医薬品の教育』
啓発パンフレット『子供の足の健康のしおり』

第5 顕彰奨励事業

健康優良学校、学校保健功労者等の表彰を行うこと（定款第4条3）

北海道の学校保健（学校安全を含む）の振興に功労のあった学校保健関係者の個人並びに団体を表彰し、その功労に報い、もって本道学校保健の進展に寄与する。

- ・選考（各関係機関） 5月
- ・表彰者の決定（理事会） 6月
- ・表彰（学校保健研究大会北海道大会の時期に合わせて） 10月21日 砂川市にて

- ・学校医42名、学校歯科医73名、学校薬剤師26名、教職員3名の合計144名を表彰した。



[収入額 0円]

[所要経費 768,660円]

報償費

746,928円

通信運搬費

21,732円

事業費合計

[収入額 5,210,700円]

[所要経費 6,261,979円]